

新たなつながりの創出で、「持続可能な人と企業に選ばれるまち」づくり

熊本県八代市（2022年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標	<p>本市は、九州のほぼ中央に位置し、東は九州山地、西は八代海・八代平野がある、熊本県第二の人口を擁する自然豊かな田園工業都市である。</p> <p>人口減少・少子高齢化が続く中、地域経済の縮小、産業や地域の担い手不足や地球温暖化への対応等の課題解決に取り組むことで、様々なステークホルダー同士が新たにつながる機会を創出し、企業と市民が居続けたい・本市に移りたいと思える「持続可能な人と企業に選ばれるまち」の実現を目指す。</p>	2. 関連するゴール	
3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	<p>SDGsに取り組む市内企業や団体による宣言制度を創設し、SDGsの普及啓発を図る。</p> <p>企業との連携による農林水産物の高付加価値化や、地元飲食店等との連携による通常販売ルートにならない農林水産物等の活用、交通事業者との連携による新規流通経路の開発などを促進し、自律的好循環を実現する。</p>		
4. 自治体SDGs推進等に向けた取組 <ul style="list-style-type: none">○SDGsに取り組む市内企業・団体等を見える化する「八代市SDGsアクション宣言」の募集を開始。○自律的好循環の具体化に向け、以下の事業を実施。①『ビジネスマッチングによる高付加価値化促進事業』 専門アドバイザーによる助言を受け、八代産食材を活用した10品の新商品を開発。②『もったいない食品利活用推進事業』 市内物産館からこども食堂（5事業者）に売れ残った野菜等を提供する取組を開始。③『貨客混載による買い物支援事業』 交通空白地域で運行している自家用有償旅客運送を用いた買い物支援に向けてステークホルダーとの調整を実施。	6. 取組成果 <ul style="list-style-type: none">○「八代市SDGsアクション宣言」については、37団体が宣言。市では、宣言事業者の取組を市HPなどで紹介することで、市民へも企業等の取組を知ってもらい、宣言制度を通じて市と企業、市民の好循環につながってきている。○ビジネスマッチングによる商談成約件数が、目標80件に対し2022年度の実績49件、2023年度73件と新型コロナウイルス感染症の5類移行もあり、商談件数、成約品目が増加し、目標達成に向けて順調に進捗している。○もったいない食品利活用推進事業においては、多い月で7回程度、物産館から食材提供が行われており、廃棄されていた食材の減少による環境負荷の低減につながっている。○貨客混載による買い物支援については、買い物弱者対策と公共交通の持続的経営を目指し、今年7月から試験運行を開始。		
5. 取組推進の工夫 <p>『もったいない食品利活用推進事業』については、こども食堂や庁内関係課及び社会福祉協議会などのステークホルダーと毎月、課題の整理や仕組みの検討を行い、LINE WORKSを活用した連絡体制の構築などを行い、事業の自走化につながった。</p>	7. 今後の展開策 <ul style="list-style-type: none">○SDGs宣言企業や団体間のつながりを作り、相互連携を図ることで、SDGs推進の自律的好循環を目指す。○『貨客混載による買い物支援事業』では、現在実施中の試験運行を踏まえ、今後本格運行への移行を目指す。		
8. 他地域への展開状況 （普及効果）	<p>圏域内農林水産物の販路拡大や高付加価値化については、定住自立圏を形成する近隣自治体と連携しながら、新商品開発や販路拡大に関するセミナー、マッチング事業等を行っている。</p>		